

# ひびき

Vol.8

森まさき

議会報告

編集・発行

森まさき

TEL0859-39-3190

Fax0859-39-3191

〒689-3537

米子市古豊千 304

## いよいよ新『米子市』誕生へ

新米子市が誕生し、旧米子市議会議員31名、旧淀江町議会議員16名合計47名の新米子市議会が発足しました。

□議長 生田 薫

□副議長 田中丞省

私、森雅幹は

□産業経済委員会副委員長

□行財政改革特別委員会委員

とし、所属することとなりました。

## 新会派「未来結成」

このたび新会派「未来」を結成しました。

□会長 八幡美博

□副会長 門脇邦子

□幹事長 森 雅幹

□政調会長 中川健作

□会計 伊藤ひろえ

基本理念

①常に市民の立場に立ち、議会として

のチェック機能を果たす。

②情報公開と説明責任を果たし、市民にとってよりわかりやすい市政を目指す。

③市民参画をよりいっそう推進し、真の市民自治を実現する。

④勇氣と信念を貫き、公平公正な社会を実現する。

以上4点を基本に据え、立場を超えて政策学習を重ねていくことを確認しています。

## 財政健全化プラン策定される

米子市の財政健全化に向けて、今後5年間で①行政内部の組織機構改革（行政改革の推進体制）、②業務の構造的改革（官民の役割分担の見直し）、③職員の意識改革（危機意識・時代認識の共有）、④行政の透明性の向上（市民との協働）など、徹底したリストラクチャリングを実行に移すことではじめて実現できるとしています。

## 森 OPINION

合併して何が変わったのか？

市の財政が悪いことだけは、多くの市民のみなさんが理解していたのだと思うが、なぜ悪くなったのか、原因追求があまりないままでは過去の経験は生きてきません。

過去の公共投資（崎津工業団地、流通業務団地、駅前地下駐車場）が生きた投資になっていません。これも、市債の償還にだけ目が行き、その有効利用がなされていません。

今こそ、こういった公共投資がどのように計画され、どのように議会に説明され決定されていったのかを、明らかにし、2度と同じ過ちをしないことが重要です。

しかし、残念ながら市長をはじめ当局は実に消極的です。確かに、前市長の責任を追及することにはなるのですが、ここをあまりにしないといけないと思います。

私は今回の財政再建プランについては、単に行政のスリム化だけにしなかったことを評価しています。

それは、③職員の意識改革、④行政の透明性の向上を基本方針に入れたことです。シーリングという単なる財政圧縮に終わることなく、ぜひ、意識改革・透明性の向上を財政改革と一緒にやってほしいと思います。

## 2005年3月議会質問

(1) 安心・安全のまちづくりについて

■森議員 昨年12月議会で、市長は「関係機関と連携協力しながら、住民の安全・安心の確保のため、地域における防犯対策の推進に努める」と答弁されたが、どのように事件・事故の発生状況を把握し、市民に周知しているのか。また、安心・安全のまちづくりのための対応について伺う。

■市長 犯罪の発生状況や防犯に関する各種情報は、米子警察署からの情報提供等を通じて把握に努めているが、その中で地域や住民にとって必要な情報は、地域や学校などの代表者をもつて組織された米子市防犯協議会を通じて提供している。市や警察が持つ安全・安心に関する様々な情報の提供は、住民への注意喚起や犯罪の再発防止に効果的であるので、これまで以上にわかりやすく迅速に地域や住民に提供しよう努めたい。

■森議員 米子警察署管内で発生した性犯罪事件及び不審者の発生件数のうち、34%が箕蚊屋中学校区であるが、市として緊急に対策を講じるべきではないか。

■市長 地域に根付いた防犯活動が行われることが必要であり、引き続き、防犯の観点からの環境整備や住民活動の支援に努めていきたい。

森 OPINION

私は、市民参画・協働・地域分権を、選挙に出るときから一貫して主張してきました。

今回、安全のまちづくりを取り上げましたが、この問題が取り組みやすい課題であると考えています。多くの人の関心を持っていただき、この問題を解決することが、行政も地域も市民協働・地域分権のトレーニングだと思えます。

(今回、危険箇所(地域の課題)を地図に落としとしてみて、説得力の強さなど新しい発見がたくさんありました。)

(2) 予算査定段階の公開について

■森議員 とかく行政の予算や資料は難しく、わかりにくく、特別なものというイメージがある。一人でも多くの市民に市の状況を理解してもらい、行政に参画していただくために、市民にわかりやすい事業別予算案の策定や事業別概要書、予算策定過程の公開が必要と訴えてきたが、現在の検討状況を伺う。

■市長 開かれた市政の運営と市民協働による施策の進展を目指すためには、予算編成過程の公開は重要であると考えており、関係部署には、県及び先進市における公開の手法等について検討し、新年度から導入するよう指示した。なお、市民にわかりやすい

事業別予算案及び事業概要書の公開の方法は、研究を重ねてみたいと思う。■森議員 財政状況が悪い中、国県補助事業が国県の予算がついたということで、査定段階で特別扱いをしているのではないかと危惧しているが実態はどうか。

■市長 予算査定においては、確かに財源的な見地から、国県補助金や地方債等の特定財源が活用できるかどうかもあるが、それだけをもって予算査定が異なるものではない。

森 OPINION

鳥取県ではすでに、予算査定段階・予算案(事業ごと)を公開しています。このことにより、より一層の行政の透明性があがります。本年6月補正予算から、まだまだ不十分ですが、一部を米子市のホームページで公開しています。

2004年9月議会

(1) 総合計画の策定について

■森議員 市長は「総合計画を年度末までに策定する」と答弁されているが、これまで策定するのに最低2か年をかけていたものが、年度末までのたったの8か月で作れるのか。年度末に策定しても、平成18年度予算には反映されないのでは、あまり空白期間を意識する必要はないと思う。在任特定期

間中に策定するなど、現在の議員のスケジュールにとらわれることなく、本間に市民のためになる総合計画を時間をかけて、本当の意味での市民参加で策定すべきではないか。

■市長 総合計画は通常5か年を基本計画として、10年を基本構想にするものであるが、市にとって非常に重要な計画であり、総合計画の存在しない期間をできるだけ短く抑えるため、本年度内の策定を目指して努力したいと考えている。なお、今回の総合計画は、新市の総合計画であり、当然のことながら、平成17年度及び18年度の予算、事業等を織り込んだ総合計画になる。また、市民にも参画していただき、総合計画のみならず、伯耆の国よなご文化創造計画等も策定していくので、市民の意向をまったく無視したものになるとは思っていない。

森 OPINION

私は、総合計画を非常に重要なものとして捉えています。しかし、多くの職員が常に総合計画を片手に持ち、その実現のために諸施策を展開するという体制にはなっていません。

これまで、職員が原案を作り、数回の公募委員を含む策定委員会が文言調整をして出来上がりというスタイルでした。勿論つくることより、実行が重要には違いありませんが、つくり方も非常に重要です。時間がかかっても、多くの市民が参加して、市民が市民の総合計画をつくるのが大事だと考えています。市長の本年度内の策定という答弁は、残念でした。

(2) 地域自治組織について

■森議員 地域自治組織については、「それぞれの地域の気運が高まって、できるのを待つ」という答弁であったが、市の施策としてやっていく必要があるのではないかと代表質問の中でも「特に淀江地域をモデルにしてやっていく必要がある」と提案をしている。また、「地域自治組織を実現していく」と旧淀江町長も旧淀江町議会でも答弁をされている。旧淀江町長からの引継ぎ、特別参与としての意見はどのように反映しているのか。

■市長 地域自治組織に関する話は特別参与ともしている。また、旧淀江町で検討されたことも伺っている。ただ、検討すべき課題がたくさんあって、旧淀江町でもすぐには実施できなかつたとのことであった。公民館には、生涯学習の拠点と同時に、地域のコミュニティ活動の拠点という位置付けをしている。今回、公民館運営審議会に予算措置も講じたところであり、どういう活動がしていただけるのか、その活動が今後どこまで各地域で発展していくのか、また、行政としてのかかわりがどうあるべきか、そういうのを見ながら、地域の住民のまちづくりを進めていきたいと考えている。

森 OPINION

地域分権の受け皿として今後も追及していきます。